

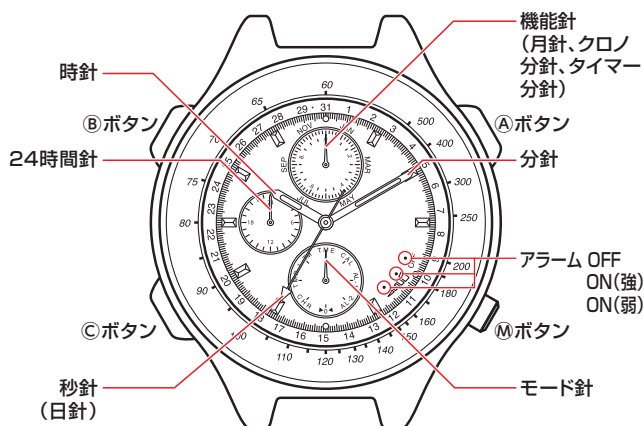
685* 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。



685*取扱説明書

各部の名称



- ・モデルによってデザインが異なります。
- ・スケールやベゼルについて、詳細は取扱説明書や、サイトの外装機能についてのページ(<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>)をご参照ください。

時刻を合わせる

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする
- ⑤ボタンを引く
- 時報に合わせて④ボタンを押す
秒針が0位置に移動します。
・秒位置が30～59秒の場合、1分進みます。
- ③ボタンまたは⑥ボタンを押して、時、分を合わせる
・針は③ボタンを押すと進み、⑥ボタンを押すと戻ります。
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
・時分針と24時間針は連動して動きます。
- ⑤ボタンを押し込んで、終了する

カレンダーを合わせる

- ・カレンダーは、1度合わせるとうう年の2月以外修正不要です。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[CAL]にする
- ⑤ボタンを引く
- ③ボタンを押して、月を合わせる
- ④ボタンを押して、日を合わせる
④、⑥ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
- ⑤ボタンを押し込んで、終了する
・存在しない日に合わせると、操作終了後、翌月の1日に針が進みます。

モニター機能

[TME]モードのときに④ボタンを押すとカレンダー、③ボタンを押すとデイリーアラームのセット時間を確認することができます(10秒間表示後、自動復帰します)。

ローカルタイムを合わせる

現在時刻とは別に、他の地域の時刻(ローカルタイム)を設定することができます。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[L-TM]にする
- ⑤ボタンを引く
- ③ボタンまたは⑥ボタンを押して、時、分を合わせる
分の修正は30分単位です。秒針は修正できません。
・針は③ボタンを押すと進み、⑥ボタンを押すと戻ります。
ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
- ⑤ボタンを押し込んで、終了する

アラームを使う

クイックセットアラーム(AL-1)とデイリーアラーム(AL-2)の2種類のアラームがあります。

クイックセットアラーム(AL-1)を使う

- ・アラームセット時刻にアラームが10秒間鳴り、鳴り終わるとセットしたアラームは自動的に解除されます。
- ・アラームOFF時に④ボタンを押すと、アラーム音の確認ができます。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[AL-1]にする
- ③ボタンまたは⑥ボタンを押して、アラーム時刻の時、分を合わせる
アラームがONになり、秒針が0秒位置で停止します。
・針は③ボタンを押すと進み、⑥ボタンを押すと戻ります。
・時分針と24時間針は連動して動きます。
・アラームをOFFにするには、④ボタンを押します。
- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[TME]にする

デイリーアラーム(AL-2)を使う

アラームを一度セットすると、毎日同じ時刻に15秒間鳴ります。アラーム音は、強、弱から選択できます。

- ⑤ボタンをくり返し押して、モードを[AL-2]にする
・④ボタンを押すと、アラーム音の確認ができます。
- ⑤ボタンを引く
アラームがON(強)になります。
・④ボタンを押すと、アラームON(弱)に設定されます。
・再度④ボタンを押すと、OFFになります。
④ボタンを押すごとに、ON(強)→ON(弱)→OFFの間で切り替わります。
- ③ボタンまたは⑥ボタンを押して、アラーム時刻の時、分を合わせる
・針は③ボタンを押すと進み、⑥ボタンを押すと戻ります。
・時分針と24時間針は連動して動きます。
・ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
・24時間針を見ながら、午前・午後を間違えないようにセットしてください。
- ⑤ボタンを押し込んで、終了する

アラーム音をとめる

④、③、⑥いずれかのボタンを押します。

クロノグラフを使う

1/20秒単位、最大60分まで計測できます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[CHR]にする
機能針と秒針が12時位置に移動します。
スタート / ストップ : **A** ボタンを押します。
・計測中に**C** ボタンを押すと、経過時間(スプリットタイム)が10秒間表示されます。
リセット : ストップ中に、**C** ボタンを押します。

1/20秒を確認する

計測を1分以上行っているときに、ストップ状態で**B** ボタンを押すと、押している間のみ機能針(クロノ分針)が1/20秒を表示します。

タイマーを使う

最大60分まで、1分刻みでタイマーを設定することができます。

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[TMR]にする
2. **B** ボタンを押して、タイマー時間を合わせる
・ボタンを押し続けると、早送り修正ができます。
・機能針(タイマー分針)を希望のタイマー時間に合わせます。
3. **A** ボタンを押す
タイマーのカウントダウンが始まります。
スタート / ストップ : **A** ボタンを押します。
・タイマー作動中に**C** ボタンを押すと、設定した時間から改めてカウントダウンを始めます。
・タイムアップ時は約5秒間アラームが鳴り、元のセット時間に戻ります。
リセット : ストップ中に、**C** ボタンを押します。

基準位置を確認する

1. **M** ボタンをくり返し押して、モードを[▶0◀]にする
各針が動き、現在の基準位置が表示されます。
正しい基準位置 :
すべての針が12時位置
現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。



2. **M** ボタンをくり返し押して、モードを [TME] にして終了する

オールリセットと基準位置修正を行う

オールリセットはどのモードからでも行うことができます。

1. **M** ボタンを引く
2. **A**、**B**、**C** ボタンを同時に2秒間以上押し続ける
確認音が鳴り、分針、秒針、機能針がかすかに運針して、オールリセットが完了します。
3. **A** ボタンを押して、秒針を0にする
4. **B** ボタンを押して、機能針を12時位置にする
5. **C** ボタンを押して、時、分、24時間針を12時位置にする
6. **M** ボタンを押し込んで、終了する

オールリセットのあとは

時刻合わせ、カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。